

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
明治大学日本古代学研究所 主催

国宝「漢委奴國王」金印は、日本列島社会が東アジアの漢帝国中枢と初めて政治交渉したことを実証する重要資料です。しかし、近年、真贋論争に揺れています。ここ数年で、この金印の資料学的検討が大きく進みました。その成果を報告するとともに、批判的立場の論者をまじえて、公開で討論を行います。



2016年 **12/3** (土) 13:30 ~ 17:00

※開場・受付開始 **13:00**

明治大学駿河台キャンパス **リバティタワー1階 1012 教室**

●タイムスケジュール●

- 13:30 開会あいさつ・趣旨説明 石川日出志 (明治大学文学部教授)
- 13:40-14:10 **報告1** 「金印「漢委奴國王」の字形」 石川日出志
- 14:10-14:50 **報告2** 「古代中国駝鈕印の形態的属性による検討」
大塚紀宜 (福岡市経済観光文化局埋蔵文化財課管理係長)
- 14:50-15:20 **報告3** 「「漢委奴國王」金印—鈕孔に関する視点」
本田浩二郎 (福岡市博物館主任文化財主事)
- 15:20-30 休憩
- 15:30-17:00 **コメントおよび討議**
コメント: 鈴木 勉 (NPO 工芸文化研究所理事長)
三浦佑之 (立正大学文学部教授)



申込不要・入場無料

公開シンポジウム
ふたたび「漢委奴國王」
金印を語る